

地域が一体となった農村環境づくり



当地区は、加古川市北西部に位置し、ため池の恵みを受けた水田農業地域です。

農地・水の活動には、平成19年度から取り組みを行い、地域が一体となって農地・農業用施設の保安全管理、地域住民参加型の農村環境保全活動を実施しています。そして、平成24年1月には、当活動及び地域の担い手組織として、「農事組合法人みやまえ営農」が設立されました。

当地域では現在、食の安全安心と食育に取り組み、減農薬・化学肥料使用の低減を目指した牛糞堆肥での土づくり、マメ科植物「ヘアリーベッチ」を緑肥とした水稻栽培を実施し、人にやさしい環境創造型農業を推進しています。

今後は、「農事組合法人みやまえ営農」と共同で農地・農業施設の保全活動を実施し、人・農地プランを積極的に実践するとともに、農地中間管理機構を活用して地域の営農活動体制の強化を行います。

また、構成員の適切な役割分担により活動を継続実施するほか、隣接協議会との農業施設維持保全活動の連携を行い、幅広い活動へと展開していきます。

基礎的活動



点検・機能診断

施設の維持管理活動

ヘアリーベッチを作付けし、緑肥として使用しています。



ヘアリーベッチ



ため池のかいぼり

ため池のかいぼりを実施し、外来種の駆除を行っています。

環境保全活動

地域住民参加型のイベントや、コスモス祭りを実施し、農産物試食会などのPRを行っています。



クリーンキャンペーン

クリーンキャンペーンを実施し、地域の環境美化にも取り組んでいます。



コスモス祭り



将来の夢・展望

宮前ため池協議会では、今後も農地・水保安全管理活動で成し得た成果を基に農業の持続的発展と農産物の生産、教育や伝統文化等農業の多面的機能を復活させ、（農）みやまえ営農を核として、農業者・非農業者を問わず地域が一体となって後継者の育成を図り、次世代へつなぐ農村環境の保全活動を継続していきます。